

名古屋大学・ハーバード大学国際ワークショップ  
Nagoya University / Harvard University International Workshop

# 日本宗教研究の最前線

The Forefront of Japanese Religious Studies

6月21日(木)13:30~17:30

[開会の辞]

阿部泰郎 (名古屋大学)  
阿部龍一 (Harvard University)

[趣旨説明]

近本謙介 (名古屋大学)

[研究発表]

大伝法院創建から見る覚鑿と鳥羽院  
郭佳寧 (名古屋大学)

アーカイヴとしての経塚：  
歴史考古学からみた院政期の別所  
Jonathan Thumas (Harvard University)

非歴史的故事としてのリアルポリテイク  
— 伴大納言絵詞に関する一考察  
Jesse LeFebvre (Harvard University)

[コメンテーター]

Paul Swanson (南山大学) / 吉田一彦 (名古屋市立大学) / 土屋有里子 (名古屋市立大学)  
船田淳一 (金城学院大学) / James Robson (Harvard University)  
梶原義実 (名古屋大学) / Gaetan Rappo (名古屋大学)

6月22日(金)9:30~15:30

[研究発表]

明恵の釈迦信仰  
— 『十無尽院舎利講式』を中心に  
金陀美 (名古屋大学)

「聖なる天蓋」の修繕と雅楽の力  
— 『七天狗絵』東寺巻の再考察を中心に  
Eric Swanson (Harvard University)

湯殿山の即身仏：  
イデオロギー、共同体、政治  
Julia Cross (Harvard University)

[調査報告]

真福寺聖教の書写・伝来と大須文庫の形成  
三好俊徳 (名古屋大学)

[全体討論]

[閉会]

2018. 6. 21 木 22 金

名古屋大学文学部棟1F 大会議室



【主催】名古屋大学大学院人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター

【共催】ハーバード大学東アジア言語文化学部 Department of East Asian Languages and Civilizations

【問い合わせ】名古屋大学人類文化遺産テキスト学研究センター 【TEL】052-789-5993 【MAIL】nagoya.cht.archives@gmail.com

科学研究費補助金基盤(S)「宗教テキスト遺産の探査と総合的研究—人文学アーカイヴス・ネットワークの構築」研究代表者：阿部泰郎

科学研究費補助金基盤(B)「唱導文献に基づく法会の総合的研究—寺院聖教調査の統合と復元的研究への展開—」研究代表者：近本謙介

日本学術振興会 Core to Core プログラム「テキスト学による宗教文化遺産創成国際学術共同体の構築」